

地方創生SDGs金融を通じた 自律的好循環形成に向けて

地方創生SDGs金融調査・研究会



第27回地方創生SDGs金融調査・研究会 有識者会議

2024年8月8日

1. 地方創生SDGs宣言・登録・認証制度ガイドラインの改訂・確定版の公表に向けて
2. 指標例の制定に向けて
3. 先導的事例の調査・研究

ガイドラインの最終化に向けた改訂論点

ガイドラインの公表にむけて、下記の論点を中心に修正しています。

論点	論点の詳細
論点① 小規模自治体への制度展開	- 小規模自治体にとっては制度構築のハードルが高いため、参考となる指標例（チェックリスト）の公表が有効策であると考えている。 - 一方で、優先課題は自治体によって異なるため、小規模自治体・大規模自治体にも対応可能な指標例（チェックリスト）を作ることが望ましい。制度構築済みの自治体を否定しないように配慮が必要。
論点② 地域事業者に対するインセンティブ事例についての記載	制度構築において、インセンティブを設けている事例をコラムまたは、ガイドライン別冊に記載する。

1. 地方創生SDGs宣言・登録・認証制度ガイドラインの改訂・確定版の公表に向けて
2. 指標例の制定に向けて
3. 先導的事例の調査・研究

1. 地方創生SDGs宣言・登録・認証制度ガイドラインの改訂・確定版の公表に向けて
2. 指標例の制定に向けて
3. 先導的事例の調査・研究

先導的事例の調査にあたり、以下 3 点を整理

- (1) 調査の目的
- (2) 調査の進め方
- (3) ロングリストの作成方法（次頁以降）

(1) 調査の目的

- 地方創生 S D G s 金融を通じて自律的好循環を形成している先導的な事例を調査し、**ヒアリング等を通じて成功要因等の研究・分析を行う**
 - 「**先導的事例**」として公表し、今後各自治体（※）・金融機関・事業者にて適宜参考としていただく
- ※「地方創生SDGs金融」や「自律的好循環」に取り組む小規模自治体を含む

(2) 調査の進め方

- ① デスクトップ調査等により、「**先導的事例**」となりうる**ロングリスト**を幅広く作成
- ② ロングリストの事例より、**成功事例から学ぶ示唆を仮説として整理**
- ③ ヒアリング先を選定し、仮説が正しいか、他の自治体がより効果的に事例を活用するにはどうすべきか等についてヒアリング
 - ※ 作成したロングリストのうち、本研究会の趣旨に鑑みたものを次々頁以降へ抜粋済み
 - ※ 1 研究会につき 1 事例、**計 3 事例**を、最終的にヒアリング先として選定することを想定
 - ※ 選定基準として、**小規模自治体を含む他自治体への展開可能性を重視する**

(3) ロングリストの作成方法 (案)

- 日本全国の様々な地方創生事例より、以下の観点でスクリーニングを行いリスト化
- ヒアリングにあたって、他の地域がより活用しやすくするための要素の抽出・仮説の構築を行う

スクリーニング観点	調査・仮説の構築方針
スクリーニング1 自律的好循環を形成している事例	・ 地域金融機関と自治体が連携し、地域課題解決のために取り組んでいる事例を調査 ・ 金融機関と連携して仕組みをつくることによるメリットや、循環を形成するための要素を抽出し、仮説を構築予定
スクリーニング2 小規模自治体による 地方創生の取り組み事例	・ 小規模自治体が地域課題解決に向け取り組んでいる事例を調査 ・ 上記から小規模自治体で取り組むために必要な要素を抽出し、更にスクリーニング1・2の事例と組み合わせて、小規模自治体でも取り組める内容にカスタマイズした取り組み仮説を構築予定
スクリーニング3 宣言・登録・認証制度の構築にかかる 好事例	・ 構築済みの宣言・登録・認証制度のうち、優れていると思われる事例を調査 ・ 同制度を構築するメリット、または構築する際に意識すべき点等を抽出し、今後制度構築を行う自治体にとって参考になる仮説を構築

